

リーダーキャンプは、毎年8月にORLCと邑楽町公民館の共催で開催しています。参加者が野外活動やレクリエーションなどを行う中で

リーダーキャンプって何だろう？

邑楽町レクリエーション・リーダークラブ（以下、ORLC）は、レクリエーションや野外活動を通じて、町内外の子どもの健全育成に貢献しています。活動のテーマは『みんなのわくわく創造集団』。これは、ORLCとかわる子どもたち、それにかかわるすべての人を、わくわくさせるために活動していきたいという活動の基本理念になっています。現在の会員は高校生、大学生、社会人という幅広い年齢層で構成されています。町の社会教育団体としても邑楽町公民館を拠点に、主に町内で活動。レクリエーションやゲーム、キャンプなどのイベントを主催するほか、おうち祭りや産業祭のような町の催しにも参加。さらに、地区の育成会活動のお手伝いなども精力的に行っています。

Navigate 特派員ナビ

リーダーキャンプってなんだろう？
ORLCがどんな団体なのか、リーダーキャンプって、どんなものなのか、基本的な事柄を説明します。

ORLCは、どんな団体？

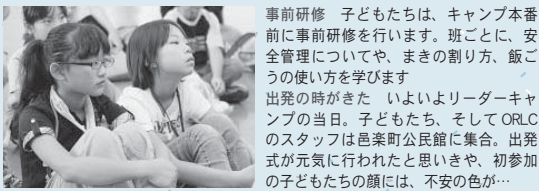
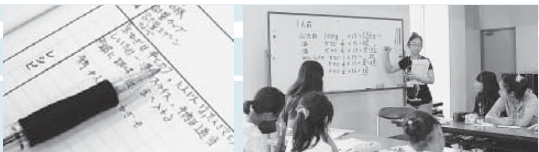
次のことを目的に行われています。①地域の異年齢集団との連携・協調を深め、積極的な仲間づくりの方法を学ぶこと②自然と接すること環境保護の大切さを知ること③野外活動の経験・技能を習得すること

以上の3点のことで通して、自主的に創造的な生きる力に満ちた明日の邑楽町のリーダーとなりえる子どもたちを育成するために開催されています。今年のキャンプでは、「一歩前へ・前進」というテーマを設け、参加者に、ふだんの生活では、行っていないことにチャレンジしてもらいようなプログラムが組まれていました。



冒険の序章 Prologue

キャンプ前には、事前研修を行います。そして、子どもたちは、出発のときを迎えます



事前研修 子どもたちは、キャンプ本番前に事前研修を行います。班ごとに、安全管理についてや、まきの割り方、飯ごうの使い方を学びます
出発のときが来た いよいよリーダーキャンプの当日。子どもたち、そしてORLCのスタッフは邑楽町公民館に集合。出発式が元気に行われたと思いきや、初参加の子どもたちの顔には、不安の色が...



いざ、しゅつぱ〜っ!!

雄大な自然の待つ目的地へと子どもたちは出発した。それは楽しい冒険の始まり。

to be continued
次ページにつづく。



【街角特派員レポート】
ORLCのジュニアリーダーキャンプ
笑顔いっぱい。楽しさ無限大。

「出会い+遊ぶ=友達」の法則

ジュニアリーダーキャンプ（以下、リーダーキャンプ）には、さまざまな出会いがあり、世代を超えた交流があります。学年も年齢も異なる参加者たちが、共同生活を通して成長していく。今回の街角特派員レポートでは、そんなリーダーキャンプの魅力に迫り、「出会い+遊ぶ=友達」の法則を導き出してみたいと思います。

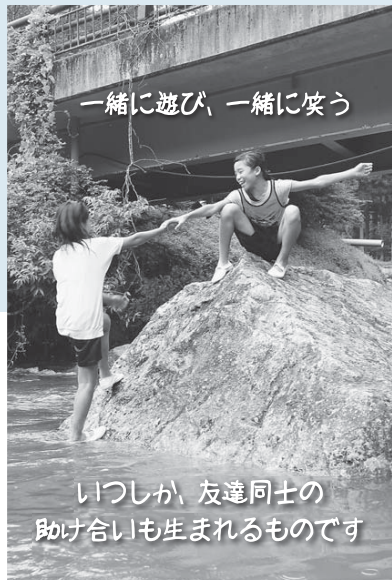
今回のリーダーキャンプは、「佐野市青少年教育キャンプ場（佐野市秋山町）」で、8月12～14日、2泊3日の日程で行われました



街角特派員
沼田恵美（前原・4区）
Numata Megumi

リーダーキャンプって何だろう？
ORLCとは、どういう団体なの？と疑問に思われる人もものではないでしょうか。かつては私もその内のひとりでした。当時の私は高校1年生。学校では部活を辞めてしまし、授業が終わるとすぐに帰宅。その日その日が何もなく過ぎていく毎日でした。そんなとき、「広報おうち（2005年9月号）」でORLCのリーダーキャンプの記事を目にしたのです。掲載されていた子どもたちの写真は、みんな笑顔。とても楽しそうで見ている自分も何だか楽しくなりました。
あのときから6年がたち、現在私は、ORLCのメンバーとして、リーダーキャンプに参加しています。自分を変えるきっかけくれたリーダーキャンプ。そこにはたくさんの出会いがあり、世代を超えた交流があります。今回、街角特派員として、その魅力と参加する子どもたちの成長をレポートします。そして、「出会い+遊ぶ=友達」の法則を導き出してみたいと思います。

街角特派員は、読者の皆さんの代表です。毎年公募で決定。一人が年2回ずつ、「広報おうち」にレポートを掲載します。町づくりの方向への意見や気になる事業の進捗状況、または自分が皆さんにアピールしたいことなど、突撃取材と歯に衣せぬ直言で、皆さんの「そこが知りたい」に答えます。



きゅんぷなウ Adventure
楽しいリーダーキャンプを満喫中

その一瞬一瞬が子どもたちの成長へとつながる一。



キャンプファイアは、毎年恒例の夜を飾るフィナーレです。レクリエーションをしながら「みんな大いに楽しむ」が、リーダーキャンプ流。忘れられない思い出になること間違いなしです。参加した子どもたちの中でも、一番人気にランキンするぐらい、大人気なのです。

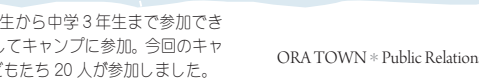
お別れの日がやってきました。2泊3日のキャンプは、あっという間に過ぎ去っていった。事前研修も入れると5日間、一緒に過ごした友達との別れ。「また来年も会おう」が合い言葉。子どもたちにとって、このキャンプが忘れられない思い出になってくれること、そして、来年も参加してくれることが、ORLCメンバー全ての願いです。

いよいよリーダーキャンプの開始です。一行は2泊3日のキャンプ地、佐野市青少年教育キャンプ場に到着。さっそく開村式が行われ、テントの設営にとりかかりました。「自分の寝床は自分で作る」がリーダーキャンプの基本です。

食事の準備は、全部自分たちで行います。調理担当、まきを割る担当など役割分担が決まられ、定刻に全員一緒に「いただきます」ができるように努めます。

川遊びは、子どもたちが待ちに待ったプログラム。絶好の晴天に恵まれたキャンプ2日目は、まさに川遊び日和。水をかけ合い、むじやきに、そして、とてもない盛り上がり方で、みんな楽しめました。

就寝の時間になっても、ハイテンションの子どもたちは、テントで話をしたり、トランプをしたりして楽しんでいました。夜の静かなキャンプ場には、子どもたちの笑い声がまだ響いていました。



純粋な子どもたちの笑顔は私にとっての喜びにつながる

今年のリーダーキャンプも、子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。私がリーダーキャンプに参加するのは、今年で5回目。毎回参加するたびに実感するのは、やっぱり子どもは無限の可能性を秘めているということ。

前回のキャンプに不安そうなお顔で、初めて参加した子どもが、今年自分より年齢の低い子を率先して、引っ張っている姿を見たときは、心打たれるものがありました。私が初めてリーダーキャンプを知ったのは、町の広報誌を読んで。その記事を目にしたことがきっかけでORLCに入会。今ではスタッフとして毎年キャンプに参加しています。それは何より、子どもたちの今年よりも来年、来年よりも再来年の成長した姿を見たいからです。

短い期間で何が変わるのか、と思う人もいるかもしれませんが、リーダーキャンプに来てくれたこと事態が、すでに大きな一歩を踏み出して

いると、私は考えます。なぜなら、知らない子同士が出会い、世代を超えた交流を通して共同生活を送る、決して学校では味わえない貴重な体験が、リーダーキャンプにはあるからです。それは、「出会い+遊ぶ=友達」の法則。友達が増えれば、視野が広がる、視野が広がれば、子どもたちが自力で可能性を見出すことにもつながる。今回の街角特派員レポートを通して、それが私の出した答えです。

街角特派員 沼田恵美



取材を終えて
Epilogue

リーダーキャンプには、間違つたとしてもプラスにできるチャンスがある。できたらできたなりの成長がある！



答えを見つけた

話を聞く
Interview

必要性を発見する

ORLCとキャンプを共催している邑楽町公民館の職員のかたに、リーダーキャンプの必要性について、お話を伺ってきました。



邑楽町公民館長
遠藤和枝さん
Endou Kazue

リーダーキャンプは
社会勉強の場です

リーダーキャンプは子どもたちにとって、早いうちから社会勉強の場。学年の上の子が下の子の面倒をみながら共同生活を送る、そうした世代を超えた交流が持てることに意義があると思います。初参加のころは、おとなしかった小学生の子が、中学生で班長になり、率先して下の子を引っ張っていき姿を見ると、成長を感じますね。それにキャンプ中、子どもたちの笑顔を見ると、本来の無邪気な純粋さを感じます。自然の中で共同生活を送り、豊かな心を持った大人に成長してほしい、そんなきつかけにリーダーキャンプがなってくればと考えています。



社会教育主事
築比地秀嗣さん
Tsutsumi Hidetsugu

当たり前が当たり前ではないことを感じてほしい

リーダーキャンプは、2泊3日のキャンプ（本研修）を始め、事前研修も2日間設けています。最近の子どもたちは忙しいですから、短い期間の中でいかに内容を充実したものとするか、どうしたら楽しさを体験してもらえるか、ORLCのスタッフを中心にキャンプのプログラムを考えています。

以前のリーダーキャンプは、共同生活を通して「生きる力を身につけることが中心でした。最近では「人間関係を培う場」として、人間関係を育む意味合いが強くなってきています。初めて参加するとなかなかじめない子どもが、共同生活を進めていくにつれ、個性が出てきて、変



わっていくのがよく分かります。上の子は下の子の面倒をみる。下の子は上の子の話をよく聞き、行動、尊敬する。こうした世代を超えた交流もリーダーキャンプならではの交流です。スタッフとして参加した高校生、大学生については参加者ではなくスタッフですから基本的に大人扱いです。大切な子どもを保護者から預かるわけですから、子どもたちの安全を第一に確保しながら、キャンプを行わなくてはなりません。当然そこには厳しさがなくてはならないのです。高校生、大学生には社会勉強になるチャンスだと思います。

リーダーキャンプを通して参加してくれた子どもたちには、当たり前が当たり前ではないことを、ぜひ感じてほしいと思います。共同生活や自炊を通して、家では甘えてしまうこと、親がやってくれてしまうこと、それを自分たちでこなすということの難しさを体験してほしいのです。ですから、今回のキャンプでは、スタッフは「一歩前へ・前進」というテーマを設定し、子どもたちに、ふだんの生活では経験できないことにチャレンジしてもらえようというプログラムを組みました。

来年もリーダーキャンプを開催する予定です。より多くの子どもたちに参加してほしいと思います。楽しい中から子どもたちには成長するきっかけを見つけてほしいですね。

リーダーキャンプには、
確かに存在した。
「新しい出会い+共に遊ぶ=友達」
という魔法のような法則がー。

街角特派員レポート
「出会い+遊ぶ=友達」の法則
おわり

邑楽町公民館の皆さん、取材にご協力いただき本当にありがとうございました。
ORLCのメンバー、そしてリーダーキャンプに参加してくれた子どもたち、心からありがとう。

Information

リーダーキャンプもおもしろいけれど、子どもまつりもとっても楽しい。みんなおいでよ。

子どもまつり開催

- ▶ 期日 10月30日(日) (小雨決行)
- ※雨天の場合は、11月3日(木)に順延。
- ▶ 時間/会場 午前9時～午後3時/多々良沼公園
- ▶ 内容 手作りおもちゃによる遊び、樹木を使ったアスレチックなど
- ▶ 対象 小学生
- ▶ 持ち物 お弁当、水筒、タオル
- ▶ 参加費 100円(保険代)
- ▶ 受付 当日午前8時30分から現地にて
- ▶ 主催 邑楽町レクリエーション・リーダーズクラブ(ORLC)
- ▶ 問合せ先 邑楽町公民館 ☎ 88-1290

